

インフルエンザの予防

インフルエンザは、例年12月から3月にかけて流行しますが、
今年は4月以降もインフルエンザが発生しており、流行開始の目安
となる1医療機関あたり1.0人を超える状況が続いています。

インフルエンザと風邪の違い

- ◇ インフルエンザは、下記症状が「**急激に**」「**強く**」現れるのが特徴です。また、「**後から**」「**遅れて**」風邪と同じような症状が現れることもあります。
 - ◇ 免疫力や抵抗力が弱い方、持病のある方は、気管支炎や肺炎などの合併症を引き起こす可能性がありますので、風邪との違いを理解し、早めに適切な治療を受けることが大切です。
- また、予防にはインフルエンザ・ワクチンの接種が効果的です。



インフルエンザと風邪の主な違い

	インフルエンザ	風邪
発症	急激	比較的ゆっくり
初発症状	悪寒、発熱、頭痛	鼻咽頭の乾燥、くしゃみ
主な症状	発熱（38℃以上）、頭痛、筋肉痛、関節痛、のどの痛み、鼻水、くしゃみ、せきなど（ 風邪より重くなることが多い ）	のどの痛み、鼻水、くしゃみ、せき、発熱（37℃台）など

予防接種

- ワクチン接種後、抗体がつくられるまでに約2週間かかるため、早めに摂取されることをお勧めします。
- 効果には個人差があり、副反応が出ることもありますので、予防接種の際には医師にご相談ください。



インフルエンザ予防接種の費用補助について

ダイワボウ健康保険組合では、今年度の保健事業として、
インフルエンザ予防接種の費用補助を実施しています。
（令和6年1月31日まで）

契約医療機関や利用方法等、詳しくはダイワボウ健康保険組合
ホームページをご覧ください。

健保だより

令和5年11月10日号

※ダイワボウ労働組合「組合新聞」第1087号
（令和5年11月10日発行）に掲載の
「健保とあなた」と同じ内容です

健保 HP スマホ用 QR コード



スマホからも見やすくなっています。